

## 団体名・美幌町郷土史研究会（美幌町）

**事業名：**特定外来種ウチダザリガニの駆除活動とそれに関わる河川環境理解に向けた教育普及用小冊子の作成

**事業概要：**美幌町 鶯沢川地域で、ウチダザリガニの①生息河川での駆除活動、②生息状況調査、③教育普及用の冊子作成

美幌町郷土史研究会では、北海道 e-水プロジェクト助成金を頂き、町内の鶯沢川において特定外来種ウチダザリガニの駆除活動を実施しました。また、より多くの方に地域の河川環境について理解をして頂くために、「ザリガニの暮らし-生きものっておもしろい-」と題した教育普及用の小冊子を作成しました。

駆除活動は、「美幌町郷土史研究会」、「美幌博物館」、「ふるさと美幌の自然と語る会」が共同で実施し、4118 個体のウチダザリガニの駆除をしました。これまでの3年間行ってきた活動で最も駆除数が多くなりました。本助成金を頂いたことで活動に広がりが出てきた一方で、人海戦術のみでウチダザリガニを駆除するむずかしさを感じています。そしてなにより、ウチダザリガニの増殖力の強さを思い知らされました。

教育普及用小冊子では、在来種ニホンザリガニを中心にザリガニ類について40 ページで紹介しています。はじめに、ザリガニ類の世界的な分布や名前の由来について紹介しています。次に、日本在来種であるニホンザリガニについて、自然の中でどのような場所で、どんな暮らししているか紹介しています。また、ザリガニ類を探すうえのでコツについても伝えています。そして、次章では幕末の探検家松浦武四郎とザリガニの関係についても紹介しています。最後に、ふるさとの川、美幌川を守る取り組みとして、ウチダザリガニの駆除活動や駆除したザリガニの命の有効活用について紹介しています。さらに、ウチダザリガニについては、本種が特定外来種に指定されていることから、在来種のニホンザリガニとの見分け方を中心に詳しく紹介しています。もちろん、ウチダザリガニがおよぼす生態系への影響についても触れています。

本事業によって、こども達はもちろん、多くの方々がザリガニ類について興味・関心を持って頂けたら幸いに思います。また、外来種ウチダザリガニについても知ってもらえたらと思います。私たちの身近な水辺を見つめ、いい水が今後も北海道の大地を潤し、本来の自然が残って欲しいと望んでやみません。

